



水本菜の花協議会  
会長 岡崎吉博さん

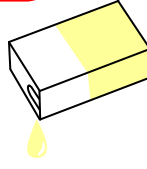
菜の花まつりは  
5月の連休明けです。  
皆さん見に来て  
ください。



菜の花栽培



なたね油



学校給食等

種子代



廃食油

公共施設・家庭

燃料精製・使用

# 菜種油

(なたねゆ、なたねあぶら)

主に西洋アブラナから採取した植物油脂の一種。

水本地区では「キラリボシ」という品種の菜の花を栽培しており、キラリボシから精製される油には「エルシン酸」が含まれないため、健康に良いと言われている。

「かぶ」や「白菜」も菜の花？



一般的にアブラナの花を菜の花と呼ぶが、アブラナ科に属するかぶや白菜などの花も菜の花と呼ばれている。

種まき (9月～10月)



開花 (5月)



収穫 (7月)



乾燥  
脱粒

しば  
油を搾る



精製



[脱蠟]  
蠟(ろう)分  
を取り除く



[脱色]  
色を  
取り除く



[脱臭]  
におい  
を取り除く

出荷

# 菜の花 プロジェクト

朝日町水本



菜の花で地域に力  
を呼び戻せ!!

山あいに開けた朝日町水本（みずもと）集落。農産物価格の低迷や担い手不足から田んぼ、ホップ畑、牧草地などの耕作放棄地の増加に悩む町は、耕作放棄地を活用して地域農業を支援する団体を募集していた。

一方、山形県トラック協会では、菜の花を栽培して、それを原料にしてトラックの燃料にする環境負荷軽減対策に取り組みようと事業候補地を探していた。

お互いの目的が一致し、トラック協会と地区の住民で構成する協議会を設立し、町と連携して「菜の花プロジェクト」に取り組みることになった。

取り組みは5年目をむかえ、耕作放棄地だった場所は、一面の菜の花畑に生まれ変わった。5月の連休明けに開催される「水本菜の花観写祭」には多くの人が訪れるようになり、地域の活性化につながっている。